

平成16年度救助技術の 高度化等検討会報告書

生物・化学テロ災害時における
消防機関が行う活動マニュアル

平成17年3月
消防庁救急救助課

はじめに

米国によるイラク攻撃以降、近年では、平成16年3月のスペインにおける列車爆破テロ、9月にはロシアにおける武装勢力による学校占拠事件等、世界各地でテロ事案が発生しております。

このように、世界的にテロの脅威が高まる中、これまで救助技術の高度化等検討会においても、化学災害（毒・劇物等）に係る消防活動マニュアル（平成14年3月）、生物・化学剤テロ災害に伴う消防機関が行う除染活動マニュアル（平成16年3月）等の活動マニュアルの作成が行われているところです。

これらの過去のマニュアル作成を踏まえて、特に除染活動マニュアルはその内容を盛り込み、また、海外・国内の関連文献を参考に、この度、現場の隊員が具体的に活動できるようになることを目的に、本マニュアル及び活動確認帳を作成することといたしました。

消防本部の皆様には、マニュアルで平素勉強していただき、実災害時には活動確認帳を用いて、迅速な活動が行えるようにご活用してもらいたいと思います。

そして、このマニュアルを基に様々な想定で、関係機関と連携した訓練を積極的に実施し、来るべき災害に備えてもらいたいと思います。

更に、NBCテロ災害を含む特殊災害への対応能力強化のための消防組織法の改正もなされ、広域応援がなされる場合に、このマニュアルによって、応援隊が統一的な対応をしていただけることと思います。

活動確認帳は、災害現場に出動した隊の隊長クラスの方に、現場において活動に漏れないように各種のチェック項目を列記しました。

本報告書を取りまとめるにあたり、ご多忙中にもかかわらず検討に参加され、貴重なご意見等をいただいた委員、本報告書及び活動確認帳の意見照会に快く応じていただいた消防本部の方々等のご尽力によるところが大きく、厚く御礼を申し上げます。

本報告書及び活動確認帳により、生物・化学テロ災害時において消防隊員が安全かつ迅速に多くの被災者を助けることができるようになることを願ってやみません。

平成17年3月

救助技術の高度化等検討会
委員長 山越 芳男

目 次

はじめに

第1編 検討会の目的等

第1章 検討会の目的	3
第2章 マニュアル使用対象者	3
第3章 検討対象とする災害形態の範囲	3
第4章 検討範囲	3
第5章 実施体制	3
第6章 実施スケジュール	4

第2編 化学テロ災害

第1章 化学テロ	7
第2章 サリン事件等を契機とするこれまでの対応	7
第3章 化学剤	8
第1節 化学剤とは	8
第2節 化学剤の分類	8
第4章 化学剤への防護	10
第1節 化学剤に対する防護措置（レベル別）	10
第2節 区域（ゾーニング）の考え方	10
第3節 活動隊の防護措置及び活動範囲	11
第4節 レベル別活動隊の主な活動	13
第5章 消防本部の通信指令部署の体制	14
第1節 119番受信から出動指令まで	14
第2節 化学テロ災害に伴う部隊編成の考え方（例）	15
第3節 消防本部における化学テロ災害時の対策本部の役割	16
第6章 化学テロ災害の消防活動	18
第1節 原因物質の推定（種類）前後のレベル別活動隊の活動	18

第2節	レベル別活動隊の活動範囲イメージ	20
第3節	消防活動の優先順位	21
第4節	出動から現場到着までの留意点	22
第5節	ホットゾーンでの活動	23
第6節	ウォームゾーンでの活動	25
第7節	コールドゾーンでの活動	27
第8節	救急隊の活動	28
第7章	最先着隊がレベルD隊であった場合の活動	28
第1節	出動から現場到着の活動	28
第2節	レベルA・B隊到着時からの活動	29
第3節	広報内容	29
第8章	現場等における各関係機関との連携	30
第1節	消防指令室	30
第2節	現地連絡調整所	31
第3節	現場での各関係機関の連携	31

第3編 生物テロ災害

＜建物内で粉等の確認により119番通報等があった場合の対処＞

第1章	生物テロ	37
第2章	生物剤	37
第1節	生物剤とは	37
第2節	生物剤の特性	38
第3章	生物剤への防護	39
第1節	生物剤に対しての防護措置（レベル別）	39
第2節	区域（ゾーニング）の考え方	39
第3節	活動隊の防護措置及び活動範囲	40
第4章	消防指令室の体制	40
第1節	119番受信から出動指令まで	40
第2節	生物テロ災害に伴う部隊編成の考え方	42
第3節	消防本部における生物テロ災害時の対策本部の役割	42
第5章	生物テロ災害時の消防活動	44

第1節	粉等による生物テロ災害の活動フロー	44
第2節	出勤から現場到着までの留意点	44
第3節	ホットゾーンでの活動	45
第4節	ウォームゾーンでの活動	47
第5節	コールドゾーンでの活動	47
第6節	救急隊の活動	48
第7節	隔離中の急病人等	48
第8節	追跡調査	49
第9節	生物テロ災害に携わった消防職員のケア	49
第6章	各関係機関との連携	49
第1節	消防指令室	49
第2節	現地連絡調整所	49
第3節	現場での各関係機関の連携	50

第4編 生物テロ災害

<天然痘の発症者（疑い含む。）の対処>

第1章	天然痘	55
第1節	天然痘とテロ	55
第2節	天然痘患者の臨床的特徴	55
第2章	天然痘の発症者への対応	56
第1節	天然痘患者に対する消防活動等の条件	56
第2節	天然痘患者への対応	56
第3節	国が示す基本方針	56
第4節	消防職員（対処要員）に対しての天然痘ワクチン接種	57
第5節	予防接種の法制面での整理	58
第6節	天然痘の疑いがある患者の扱い（在宅中）	58
第3章	天然痘への防護	58
第1節	天然痘に対しての防護措置	58
第2節	区域（ゾーニング）の考え方	58
第3節	活動隊の防護措置及び活動範囲	58
第4章	消防指令室の体制	59

第1節	119番受信から出動指令まで	59
第2節	天然痘患者の搬送に伴う部隊編成の考え方	60
第3節	生物テロ災害に伴う消防対策本部の役割	60
第5章	天然痘患者の搬送（移送）に伴う消防活動	62
第1節	身体防護レベルに合わせた隊の区分	62
第2節	出動から現場到着の主眼	63
第3節	自宅内等での活動	63
第4節	救急車収容	64
第5節	救急搬送	64
第6節	現場の除染	64

第5編 生物・化学テロ災害時の除染活動

第1章	生物・化学テロ災害時の除染活動フローチャート	71
第1節	化学テロ災害	71
第2節	生物テロ災害	72
第2章	曝露者の除染	72
第1節	物質除去	72
第2節	脱衣	74
第3節	洗浄	77
第3章	使用資機材・活動隊員等の除染	78
第1節	剤の拡大防止	78
第2節	使用資機材の除染	79
第3節	活動隊員の除染	79
第4節	汚染された排水の除染	80
第4章	専用の資機材のない場合の除染	80
第1節	目的	80
第2節	除染方法の具体例	80
第5章	合理的な除染活動の流れ	82
第1節	目的	82
第2節	イメージ図	82

生物・化学テロ災害時における消防機関の活動確認帳

化学テロ災害時の確認事項	85
○化学テロ災害出動時における出動から現場到着時の確認事項	85
○化学テロ災害時の各ゾーンの活動隊における確認事項	86
○救急隊の活動	91
生物テロ災害（建物内で粉等の確認）時の確認事項	94
○白い粉等の生物剤テロ出動時における出動から現場到着時の確認事項	94
○生物テロ災害時の各ゾーンの活動隊において確認すべき点	95
生物テロ災害（天然痘テロ発症者の対処）	100
○天然痘患者の救急搬送における出動から現場到着時の確認事項	100
○自宅内等での活動について	100
〈参考文献〉	102